
どんなに願っても

未知

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どんなに願っても

【Nコード】

N8055Z

【作者名】

未知

【あらすじ】

ある日、青子は見てしまった。快斗が他の少女と一緒にデパートに居るところを。

しかも、その少女は自分とよく似た容姿をもつ親友である蘭だった。
・

同日、新一も蘭と快斗が並んで歩いているところを目撃してしまふ。

その日から起こった彼らの擦れ違い・・・

「なんで幼馴染だからって一緒じゃなきゃダメなの？関係ないでしょ？」

「え・・・？」

「もう・・・いいんだよ」

「どづしてよ!？」

ついに・・・

親友・・・さらに、幼馴染の関係すら壊れていく・・・

「絶対なんてない。人は時間が経てば変わるんだよ?」

「もう・・・元には戻れないのかな・・・」

初の恋愛小説。CPは原作通りです。

プロローグ

「ねえ……どうしてよ……」

少女は涙を堪えながら呟いた……

「快斗……蘭ちゃん……」

「相手が蘭ちゃんなら・・・絶対青子なんか敵うはずがない・・・」

堪えていた雫は少女の瞳から零れ落ち、手に持っていた枕の上へと落ちていく。

暫くすると、少女は何かを決意した顔つきになった。

それが彼の幸せに繋がるのならば

自分が幸せでなくても・・・

彼が幸せであるのならば・・・

私はそれでいい

もう諦めよう……

たとえ、どんなに願っても……

叶わぬ夢

私たちは、ただの幼馴染でしかないのだから……

快斗
·
·
·

―私は貴方が大好きでした・・・―

い江古田高校 2 - Bい

「待ちなさいーいー!!」

「誰が待つかよ!アホ子!ー!!」

「何ですってー!ー!!?このバ快斗!ー!!」

「あんだと!ー?お子様アホ子!ー!!」

「何よー!!」

「あゝあ．．．。また始まった．．．」

「よくやりますよ。ほんと毎日毎日．．．」

「飽きないのかしら？あの二人」

上から順に桃井恵子・白馬探・小泉赤子。

三人の目の前にいるのは、モップを振り回しながら一人の少年を追いかける少女・中森青子とその青子の幼馴染である黒羽快斗の二名。

授業中に騒ぎ出し、追いかけてこをやりだす迷惑極まりない行動を毎日行っている二人。

クラスメートから見たら痴話喧嘩にしか見えないのだが、本人たちは否定している。

しかも、このクラス内・・・いや、学校中でこの喧嘩を止められる人はまずいないだろう。

教師たちが抜き打ちで名指ししても、1秒後には答えが返ってくる。

しかも全て正解・・・

いつ黒板を見てるのか？

それがクラスメートたちの疑問でもある。

つまり、教師たちですら止められない……。

誰一人としていない。
クラスメートたちは止めようという気がないため、止める者は

だから毎日2・Bは授業崩壊している……

「あと10分は止まらないでしょう……」

「同感だわ」

そう言い、勝手に持ち込んできた事件の調書を読み込む元祖高校生探偵で、警視總監の父を持つ白馬探と、赤魔術の正当なる後継者であり100人いたら100人とも振り返る程の美貌の持ち主である魔女・小泉赤子。

事件が起こり、呼び出しをくれば授業中であっても抜けて行く探。

そして、以外にも早退が多く、授業中はいろいろな本を読んでいる赤子。

ある意味こちらも問題児である。

『2・Bは問題児の集まり』とまで言われてしまっている。

実際、このクラスには早弁をしたり、授業を聞いているフリして実は寝ていたりする人も多いため、間違いではない。

しかし、一番の原因はこの四人であろう・・・

でも、先日の中間テストでは、1位 快斗&探、3位 青子&赤子と、素晴らしい頭脳の持ち主でもある。

さらに、四人が四人ともタイプは違えど美男・美女なため何も言えない（笑）

「別にいいじゃねーか！……！」

「よくないわよ……！」

「ハア・・・」

そんなお決まりとなった日常という名の痴話喧嘩。

これもこれで楽しいから好きなのだ。

でも・・・

これからも変わらず続いていく・・・

そう思っていたのは私^{青子}だけですか・・・？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8055z/>

どんなに願っても

2011年12月25日23時51分発行